

年号一覽表

(注) 1 数字は西暦年代による。2 継続年の末年は改元の年を含めてある。
3 太枠は本巻が主として対象とする時期を示す。

年号	継続年	天皇	年号	継続年	天皇	年号	継続年	天皇
大化	645~650	孝徳	天延	973~976	円融	天承	1131~1132	崇徳
白雉	650~654		貞元	976~978		長承	1132~1135	
白鳳	672~?		天元	978~983		保延	1135~1141	
朱鳥	686~	天武	永観	983~985	花山	永治	1141~1142	近衛
大宝	701~704		寛和	985~987		康治	1142~1144	
慶雲	704~708	文武	永延	987~989	一条	天養	1144~1145	近衛
和銅	708~715		永祚	989~990		久安	1145~1151	
靈龜	715~717	元正	正暦	990~995	一条	仁平	1151~1154	後白河
養老	717~724		長徳	995~999		久寿	1154~1156	
神亀	724~729	聖武	長保	999~1004	三条	保元	1156~1159	後白河
天平	729~749		寛弘	1004~1012		平治	1159~1160	
天平感宝	749~	孝謙	長和	1012~1017	三条	永暦	1160~1161	二条
天平勝宝	749~757		寛仁	1017~1021		応保	1161~1163	
天平宝字	757~765	淳仁	治安	1021~1024	後一条	長寛	1163~1165	六条
天平神護	765~767		万寿	1024~1028		永万	1165~1166	
神護景雲	767~770	称徳	長元	1028~1037	後朱雀	仁安	1166~1169	六条
宝亀	770~780		長暦	1037~1040		嘉応	1169~1171	
天応	781~782	光仁	長久	1040~1043	後朱雀	承安	1171~1175	高倉 (1183)
延暦	782~806		寛徳	1044~1046		安元	1175~1177	
大同	806~810	平城	永承	1046~1053	後冷泉	治承	1177~1181	安德
弘仁	810~824		嵯峨	1053~1058		養和	1181~1182	
天長	824~834	淳和	康平	1058~1065	後三条	寿永	1182~1184	安德
承和	834~848		治暦	1065~1069		元暦	1184~1185	
嘉祥	848~851	仁明	延久	1069~1074	後三条	文治	1185~1190	後鳥羽
仁寿	851~854		承保	1074~1077		建久	1190~1199	
斉衡	854~857	文徳	承暦	1077~1081	白河	正治	1199~1201	土御門
天安	857~859		永保	1081~1084		建仁	1201~1204	
貞観	859~877	清和	応徳	1084~1087	白河	元久	1204~1206	土御門
元慶	877~885		寛治	1087~1094		建永	1206~1207	
仁和	885~889	光孝	嘉保	1094~1096	堀河	承元	1207~1211	順徳
寛平	889~898		永長	1096~1097		建暦	1211~1213	
昌泰	898~901	醍醐	承德	1097~1099	堀河	建保	1213~1219	順徳
延喜	901~923		康和	1099~1104		承久	1219~1222	
延長	923~931	朱雀	長治	1104~1106	堀河	貞応	1222~1224	仲恭 (1221)
承平	931~938		嘉承	1106~1108		元仁	1224~1225	
天慶	938~947	朱雀	天仁	1108~1110	堀河	嘉祿	1225~1227	後堀河
天曆	947~957		天永	1110~1113		安貞	1227~1229	
天徳	957~961	村上	永久	1113~1118	鳥羽	寛喜	1229~1232	後堀河
応和	961~964		元永	1118~1120		貞永	1232~1233	
康保	964~968	冷泉	保安	1120~1124	鳥羽	天福	1233~1234	四條
安和	968~970		天治	1124~1126		文暦	1234~1235	
天禄	970~973	冷泉	大治	1126~1131	鳥羽	嘉禎	1235~1238	四條

あとがき

一 本巻の発行にあたっては、竹内理三総括監修者のもとに、監修には大久保利謙主任執筆委員、編集には山口修・今井庄次・金原左門・江村栄一各執筆委員がそれぞれ当たられ、執筆にはこのほか桜庭宏・高橋昌郎・阿部恒久・大畑哲・内田修道・草間俊郎・斉藤秀夫の諸氏の御労苦をわずらわした。以上の方々に対し、ここに心からお礼を申しあげる次第である。

一 本巻には、すでに発行した神奈川県史の各資料編に収録した資料はもとより、これまで県史編集室で長年にわたって調査・収集してきた多くの資料を利用していただいた。また、貴重な図版の提供を多数受け、収録させていただいた。これら関係各位の御協力なくしては本巻の発行もなしえなかつたことを思い、改めて感謝申しあげたい。

一 なお、叙述にみられる部落差別問題（同和問題）について付言したい。

この問題は、日本の歴史の過程で人為的につくられたものである。徳川幕府は、封建的身分制度として、士・農・工・商とさらにその下の身分をつくつた。このような身分差別に基づいて日本国民の一部の人びとが社会的、経済的、文化的に低い状態におかれ現代の社会でも著しく基本的人権が侵害されている。しかし、世間の一部の人びとの間では、同和問題は過去の問題であつて、今日の民主化、近代化が進んだわが国にはもはや存在しないという考え方があつたが、同和問題は結婚差別などに見られるように厳然たる事実として存在し、日本国民のだれにも等しく保障されている市民的権利と自由が、完全に保障されていないという最も深刻にして重大な社会問題となつてゐる。

この問題の解決をめざして、県では「これを未解決のまま放置しておくことは断じて許されぬことであり、その早急な

解決こそ行政の責任であって、同時に国民的課題である。」との基本的認識のもとに、同和対策を新神奈川県計画に盛りこみ、県の重要施策として位置づけ、関係市町と協力し、各種の事業を行っているところであるので、一層の御理解をお願いしたい。

昭和五十五年三月

神奈川県民部県史編集室長

主な関係者名簿

神奈川県史編集懇談会会員（順不同）昭和五十五年二月一日現在

長洲 一二 神奈川県知事（会長）

石井 孝 津田塾大学教授

上野 豊 神奈川県商工会議所連合会会長

小串 靖夫 神奈川県中央会・信連・経済連・共済連会長

呉 文炳 元日本大学総長

清水 末雄 神奈川新聞社社長

高村 象平 慶応義塾大学名誉教授

永田 衡吉 芸能史家

脇村義太郎 東京大学名誉教授

山田吉三郎 神奈川県議会議長

中井 一郎 神奈川県市長会会長

柳川 賢二 神奈川県町村長会会長

神奈川県史編集委員会委員（順不同）昭和五十五年二月一日現在

委員長 知事

副委員長 副知事

長洲 一二
湯沢 信治

副委員長 県史総括監修者兼主任執筆委員
委員 県史主任執筆委員

竹内 理三
大久保利謙
児玉 幸多
安藤 良雄

県総務部長
八木 敏行

県県民部長
高瀬 孝夫

県教育長
阿部 治夫

県立図書館長
武田 英治

県立川崎図書館長
橋原 良彦

県立博物館長
戸栗 栄次

県県民部参事兼県史編集室長
福本 信一

顧問（東京大学名誉教授）
坂本 太郎

神奈川県史執筆委員（五十音順）
昭和五十五年二月一日現在

原始・古代及び中世

赤星 直忠 県文化財保護審議会委員

岡本 勇 県文化財保護審議会委員

○竹内 理三 元東京大学教授（県史総括監修者）

貫 達人 青山学院大学教授

百瀬今朝雄 東京大学教授

近世

青木美智男 日本福祉大学助教

川名 登 千葉経済短期大学教授

神崎 彰利 明治大学教授

木村 礎 明治大学教授

○児玉 幸多 学習院大学教授

近代及び現代（政治・社会・文化担当）

今井 庄次 東京外国語大学教授

江村 栄一 法政大学教授

○大久保利謙 元立教大学教授

金原 左門 中央大学教授

山口 修 聖心女子大学教授

近代及び現代（産業・経済担当）

○安藤 良雄 東京大学名誉教授

腰原 久雄 横浜国立大学助教

寺谷 武明 横浜市立大学教授

丹羽 邦男 神奈川大学教授

林 健久 東京大学教授

三和 良一 青山学院大学教授

山本 弘文 法政大学教授

○印は、各時代担当の県史主任執筆委員を示す。

神奈川県史編集参与（五十首順）

昭和五十五年二月一日現在

秋本 益利 横浜市立大学教授

浅香 幸雄 専修大学教授

大岡 実 日本大学教授

大藤 時彦 成城大学名誉教授

小出 義治 神奈川歯科大学助教

酒井 恒 東京家政学院大学教授

佐野 大和 国学院大学教授

玉村 竹二 元東京大学教授

辻 達也 横浜市立大学教授

長倉 保 神奈川大学教授

服部 一馬 横浜市立大学教授

藤田 経世 跡見学園女子大学教授

本阿弥宗景 県文化財保護審議会顧問

見上 敬三 横浜国立大学教授

三上 次男 青山学院大学教授

宮脇 昭 横浜国立大学教授

森 栄一 県文化財保護審議会委員

山中 裕 東京大学教授

吉川 逸治 東海大学教授

神奈川県史 通史編 4 近代・現代(1)

第25回発行

昭和55年3月10日印刷

非売品

昭和55年3月25日発行

編集 神奈川県民部県史編集室

発行 神奈川県

横浜市中区日本大通り1

印刷 大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町1丁目12番地